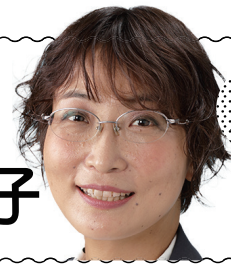


日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



ニュース

2025年1月24日
2月号 No.136

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子
連絡先：議員団控室（市役所内）
TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

子どもへの貧困



親などが貧困の状態にある家庭で育つ18歳未満の子の割合をしめす日本の子どもの貧困率（2021年時点）は11・5%（9人に1人）。なかでも深刻なのがひとり親世帯で、貧困率は44・5%です。子育て世帯の困窮を解

決し、くらしと育児を応援する総合的な対策が必要です。

国に求めていくこと

① お金の心配なく学び、子育てできる社会を

・ 派遣労働は臨時的・一時的業務に限定。正社員の派遣への置き換えをなくす。

・ 国の責任で子どもへの医療費を無料に。
・ 保育園、幼稚園の無償化を。
・ 義務教育の完全無償化を、就学援助制度の拡充を。

・ 同一労働同一賃金均等待遇を法律に明記。非正規への不当な差別・格差をなくす。
・ 最低賃金をどこでも1500円に。

・ 大学授業料を半減。給付型奨学金を70万人に。

・ 社会保険料減免や賃金助成など、中小企業の賃上げを本格的に支援。

② 安定した雇用と賃金を保障する労働のルールを

③ たよれる人の輪、取り組みを支援

・ 子育ての不安を解消する相談支援体制をつくる。
・ 子ども食堂・無料

学習支援・親子の居場所づくりに公的支援を。

日本共産党高槻市議員団がみなさんと一緒に実現したこと

※○は市議会で質問した年月日

- ・ 就学援助支給日も医療費の窓口負担（1回500円）が無料になります。（2013年3月28日、2018年3月7日の議会で中村議員が質問）
- ・ 今年4月から子ども

高槻市に提案・要望していること

○ 就学援助制度の所得基準を見直し、補助内容を向上させること。

○ 市のトイレに生理用品を置くこと。など

○ 市奨学金の所得基準を緩和すること。給付奨学金を創設すること。



○ 学校給食のない期間、子どもへの昼食の提供をすること。

○ 食料支援などの規模と内容を増やすこと。

高槻市では

○ 子ども食堂

※各子ども食堂のホームページ、「ガッツコム・むすびえ 子ども食堂マップ」(2023年度調査)より。

- ・ えん食堂つむぎ 東大川2-24-2西法寺 ※利用はホームページにアクセスし、メール予約
- ・ NPO法人NALC(ナルク) 城北町1丁目1-14太田第2ビル2階 ☎072-662-0769
- ・ Kids Lab. 民間学童保育 大手町5-1 ※利用はホームページにアクセスし、メール予約
- ・ ホテルアベストグランテ高槻 芥川町1-14 ☎072-686-0001
- ・ マサミ子ども食堂 登町24-1
- ・ 子育て支援タイム食堂 牧田町7番第54棟106号
- ・ サンライズ子ども食堂 大塚町
- ・ 川添子ども食堂 川添2-1-3
- ・ 富田わくわく食堂 富田ただいま食堂 富田町2-13-8ハイッ白菊1階
- ・ じゃんぷ子ども食堂 西冠1-1-18

社会福祉協議会の食料支援

ける間の対応として、経済的に困窮し食品が必要な人が対象です。問い合わせ先：072-674-7494

